

シルクチーフ開発概要

平成三十一年二月に山形大学国際事業化研究センターと連携協定を締結し、本校生徒が大学の開発型のプログラム（EDGE-NEXT：新規事業育成教育プログラム）に取り組んでいます。その活動のなかで、鶴岡市が日本有数のシルクの産地であったことを現在の高校生の約半数が知らないことや、鶴岡の産業を発展させたシルク産業が衰退している現状について生徒自らが調べ、地域の課題解決に向けた「鶴工シルクプロジェクト」を立ち上げ活動してきました。資金を調達するために初めてクラウドファンディングに挑戦し、価値を高めるブランディングやデザイン、効果的なPRのための映像制作について学び、多くの方々に見守られながら最後の捺染作業まで丁寧な心を込めて取り組んでくれました。そして本校創立一〇〇周年にふさわしいチーフが生徒たちの手により完成いたしました。



鶴岡のシルクの歴史と本校の歴史がこのシルクチーフに込められています。サムライが刀を鍔に持ち替え松ヶ岡を開墾し、鶴岡の産業の礎を築いてきた歴史の中で、本校はシルク産業の発展により一〇〇年前に開校しました。創立一〇〇周年にあたり、ブランナーの佐藤成美さんやデザイナーの奥泉なぎささん、東北芸術工科大学の学生の皆さん、鶴岡シルク株式会社のお力添えをいただき、この歴史を伝えるシルクチーフを完成させることができました。デザインや染色の体験を通して鶴岡のシルクの素晴らしさに触れ、完成したチーフに私たちも感激しております。ぜひこのシルクチーフに込められた想いを感じていただきながらお使いください。

二年情報通信科 生徒代表

PROJECT

私たちはサムライシルクを作るにあたりロゴマークを制作しました。

サムライシルクのロゴマークには、戊辰戦争以降の旧庄内藩のサムライ達が刀を鍔に持ち替えて開墾した想いと歴史が描かれています。

中心には、庄内藩の家紋に刻まれた「カタバミの葉」を用いて、旧藩士のサムライ魂を引き継ぐ印として掲げました。上部は「鞘に収めた刀」、下部は「原生林を耕した鍬」が、一つの円となっており繋がっています。



LOGOMARK



サムライチーフ

サムライシルクのロゴマークをメインに使用したデザインです。

まゆ玉模様

繭玉とロゴマークをドット模様のように散りばめました。どこかに鶴岡の鳥「鶴」が一羽います。探してみてください。



キビソチェック

蚕が繭作りで最初に吐き出す硬く太い糸「キビソ」と繭玉を使用したチェック模様のデザインです。



シルクメッシュ

「庄内刺し子」からヒントを得た、絹の糸が網目模様になっているデザインです。繭と繭をつなぐラインから縁取りのラインまで、ほぼ一本の絹糸で繋がっているイメージです。ここにも隠れ鶴が飛んでいます。



色について

シルクチーフに使用されている三つの色は、鶴岡工業高校の橙色・サムライの色とも言われる藍色・蚕がはじめに吐き出す絹糸「キビソ」をモチーフにした色を表現しています。

DESIGN

シルクについて

優雅な光沢をもつ上品なシルクは見た目の美しさだけでなく、タンパク質繊維で出来た天然繊維のため人の肌に一番近く、肌に寄り添う健康的で優しい素材です。また吸湿性・放湿性が高いので「呼吸する繊維」とも言われ、加えて保湿性も高く季節を問わず一年中利用できます。

さらに紫外線を吸収する効果や、抗菌作用、抗アレルギー作用、酸化作用などもあり、首に巻く以外にもマスクへの活用など幅広い用途で活用することができます。

洗い方

クリーニングに出さなくてもご自宅で簡単に手洗いする事が出来ます。シルクは繊細ですので強くこすったり擦れたりすると毛羽立ってしまいますが、人間の肌に近いアミノ酸で出来ていますので、人肌と同じ温度（三十六〜三十七度）で、弱酸性や中性の洗剤を使い、体を洗うように優しく洗えば繊維をあまり痛めることなく洗うことが出来ます。

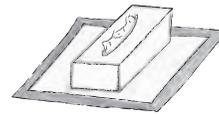
※ ご家庭にあるボディーシャンプーなどで洗えますが成分を確かめてからご使用ください。

スカーフの
いろいろな使い方

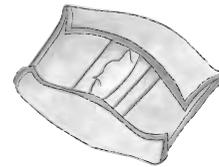
シルクのチーフスカーフはファッションのアクセントだけでなく、首元に巻けば暖かい防寒に、物を包めば上品なエコバックとして使えるなど、様々な用途に活用できます。このプロジェクトでは受け取った方に沢山活用してもらえよう、「もっとこんな使い方はないだろうか」とアイデアを持ち寄り可能性を考えました。その中からみんなが選んだ二種類の活用方法をご紹介します。

BOX ティッシュ カバー

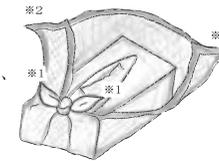
シルクを裏面にして広げ、お手持ちのティッシュ箱をその中央に置く。



シルクの
手前と奥の両端部分を
ティッシュの中央に向けて
折る。



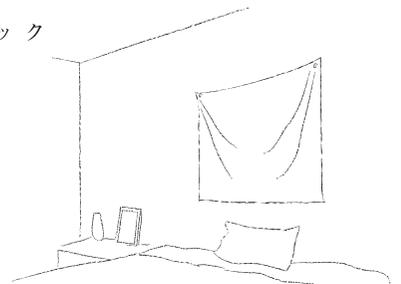
シルクの^{※1}手前左右の角と、^{※2}奥手左右の角を箱の上面でそれぞれ2重に結ぶ。



結んだところや、ティッシュを引き出す部分を整えて、完成！



ファブリック ポスター



ヨーロッパや海外などで布を絵画の様に飾るファブリックポスター。シルクチーフを額縁やピンを使ってお部屋に飾ってみるのも素敵です。

ティッシュの箱をシルクチーフで包めば、インテリア小物として活用できます。

鶴工シルクプロジェクト



山形県立鶴岡工業高等学校
100周年記念

文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業
山形大学EDGE-NEXT